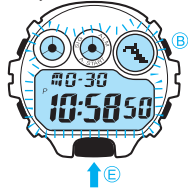


ライト点灯について

時刻モード、アラームモード、各セット状態のときに (E) ボタンを、タイマーモード、ストップウォッチモードのときに (C) ボタンを押すと約3秒間文字板が発光します (このとき文字板のアニメ表示が動きます)。

(例：時刻モードのとき)



< MEMO >

時刻モード、アラームモードではボタンを押すタイミングでアニメ表示の内容が変わります (2種類)。ただし、セット中 (表示点滅) はアニメ表示を行いません。

< ご注意 >

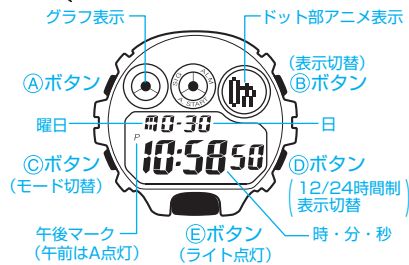
- 直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- 発光中に電子音が鳴ると発光を中断します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

操作のしくみと表示の見方 (C) ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。

時刻モード

現在時刻の秒に連動して点灯/消灯を繰り返します。

30秒ごとにアニメ表示の内容が変わります (2種類)。



< 曜日の見方 >

SU: 日 MO: 月 TU: 火 WE: 水
TH: 木 FR: 金 SA: 土

★12/24時間制表示切替について

時刻モードで、(D) ボタンを押すごとに、12時間制表示 (午前A/午後P) と24時間制表示とが切り替わります。

★表示切替について

時刻モードで、(B) ボタンを押すごとに「曜日・日」と「月・日」の表示が切り替わります。



★サマータイム (DST) のON/OFF設定

時刻モードで、(E) ボタンを約2秒間押すごとに、サマータイム (DST) のON/OFFが切り替わります (「サマータイム (DST) について」参照)。

タイマーモード



ストップウォッチモード



アラームモード



時刻・カレンダーの合わせ方 以下の操作は時刻モードで行ないます。

電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

■時刻の合わせ方

月に1度くらいこの「秒合わせ」をすると、時刻はいつも正確です。

1. セット状態にする

時刻モードのとき、**Ⓐ** ボタンを約2秒間押しします

⇒「秒」が点滅します。



●「秒」合わせ…30秒以内の遅れ/進みの修正

時報に合わせて、**Ⓓ** ボタンを押しします

⇒「00秒」からスタートします。

※秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります(時報は「時報サービス117番」が便利です)。

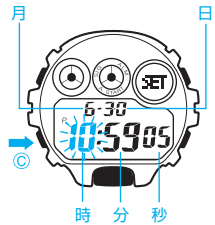


●「時刻・カレンダー」合わせ

a. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押しします

⇒ **Ⓒ** ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。



b. 点滅箇所のセット

Ⓓ ボタンを押しします

⇒数字が1つ進みます。
※押し続けると早送りします。



Ⓒ ボタンでセットしたい箇所を選び、**Ⓓ** ボタンで数字を選ぶ操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※「時」のセットのとき午前(A) / 午後(P)、24時間制、サマータイム(DST)にご注意ください。
※「年」は2000～2039年の範囲内でセットできます。正しく年月日をセットすると、自動的に曜日が算出されます。
※カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正する必要がありません。

2. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押しします

⇒点滅が止まります。
※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■サマータイム(DST)について

サマータイムとはDST(Daylight Saving Time)とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

★サマータイム(DST)のON/OFF設定

時刻モードで、**Ⓒ** ボタンを約2秒間押しすごとに切替音が鳴り、サマータイム(DST)のON/OFFが切り替わります。

※DSTをONにすると、通常の時刻より1時間早まります(以後、コロンの“:”は点滅表示されます)。



タイマーの使い方 ③ ボタンを押して、タイマーモードにします。

本機には、1分単位で最大60分までセットできるタイマーが3本あります。残り時間が0秒になると、10秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

■タイマー時間の設定

1. タイマー番号を選ぶ

タイマーモード(計測リセット状態)のとき、**Ⓓ** ボタンを押しします

⇒「タイマー1→2→3→タイマー1…」の順で表示が切り替わりますので、セットしたいタイマー番号を選びます。



2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約2秒間押しします

⇒「分」が点滅します。



3. 点滅箇所のセット

Ⓓ ボタンを押しします

⇒数字が1つ進みます。
※押し続けると早送りします。



4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押しします

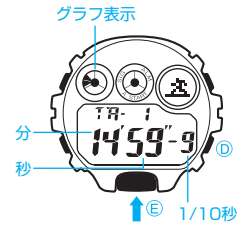
⇒点滅が止まります。
※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■タイマーの使い方(減算計測のしかた)

準備:タイマーモードのとき、**Ⓓ** ボタンを押して、タイマー時間を選びます。

Ⓒ ボタンを押しします

⇒ **Ⓒ** ボタンを押すと計測を開始します。



★計測中に **Ⓒ** ボタンを押すと計測が一時的に中断します(STP点灯)。もう一度 **Ⓒ** ボタンを押すとその時点から計測を再開します。

★「タイムアップ後」または「計測中断後 **Ⓓ** ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります。

残り時間が5分および0秒(タイムアップ)になると、電子音、ライト、アニメ表示で知らせます。

★減算計測中のグラフ表示について

残り時間が5分を 5分以下のとき タイムアップ時
超えるとき



※計測中のグラフ表示は残り時間に連動して点灯/消灯を繰り返します。

ストップウォッチの使い方 ㊟ ボタンを押して、ストップウォッチモードにします。

ストップウォッチは、1/100秒単位で59分59秒99(60分計)まで計測できます(計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます)。また、スタートの5秒前からカウントダウンを開始し、3秒前から1秒ごとに電子音で報知することができます。

計測のしかた

㊟ ボタンを押します

→ ストップウォッチモードのとき、㊟ ボタンを押すと計測を開始します。



★計測中に㊟ ボタンを押すと、計測が止まります。このときもう一度㊟ ボタンを押すとその時点から計測を再開します(積算計測)。

★計測中に㊠ ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります(SPL点灯)。

★計測値を0に戻す(リセット)には計測終了後㊠ ボタンを押します。

通常計測



スプリットタイム(途中経過時間)の計測



1・2着同時計測



オートスタート機能

オートスタート機能とは、スタート(計測開始)の5秒前からカウントダウンを開始し、3秒前から1秒ごとに電子音で報知するものです。この機能により、スタート時のボタン操作を行なうことなくスタートと同時に計測を開始することができます。

★オートスタート表示にするには

計測リセット時(00'00"00)に㊠ ボタンを押すことに、通常スタート表示とオートスタート表示とが切り替わります。

オートスタートマーク



<オートスタート表示>

★オートスタートで計測を開始するには

オートスタート表示のとき㊟ ボタンを押すと、5秒からのカウントダウンを始めます。

オートスタート予告表示



● カウントダウン中に計測を中断するとき...

㊠ ボタンを押します。オートスタート計測前の表示に戻ります。

● カウントダウンを中止し、即スタートするとき...


㊟ ボタンを押します。

★ カウントダウン中のグラフ表示について



※計測開始後は、通常のストップウォッチのボタン操作と同様になります。

アラームの使い方 ㊟ ボタンを押して、アラームモードにします。

本機には、時分を設定できるアラームが5本あります。設定した時刻になると20秒間の電子音が鳴り、「」マークがアニメ表示されます。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

アラーム時刻のセット

1. アラーム番号を選ぶ

アラームモードのとき、㊠ ボタンを押します

→ 「アラーム1→2→3→4→5→時報→アラーム1...」の順で表示が切り替わりますので、セットしたいアラーム番号を選びます。

アラーム番号

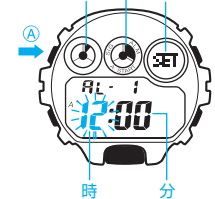


2. セット状態にする

㊠ ボタンを約2秒間押します

→ 「時」が点滅します。
※アラームONとなり、アラームマークと該当のグラフ表示が点灯します。

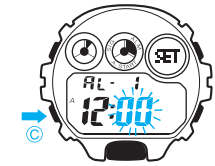
アラームマーク グラフ表示 セット中表示



3. セット箇所を選ぶ

㊟ ボタンを押します

→ ㊟ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」⇄「分」で移動します。



4. 点滅箇所のセット

㊠ ボタンを押します

→ 数字が1つ進みます。
※押し続けると早送りします。



㊟ ボタンでセットしたい箇所を選び、㊠ ボタンで数字を選ぶ操作を繰り返して、アラーム時刻を合わせます。

※「時」のセットのとき午前(A) / 午後(P)、24時間制、サマータイム(DST)にご注意ください。

※基本時刻を24時間制に設定しているときは、アラーム時刻も24時間制で表示されます。

5. セットを終わる

㊠ ボタンを押します

→ 点滅が止まります。

※点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。

アラーム・時報のON/OFF設定

準備: アラームモードのとき、㊠ ボタンを押して、鳴らしたいアラーム番号を選びます。また、時報を鳴らしたいときは時報表示を選びます。

㊟ ボタンを押します

→ ㊟ ボタンを押すごとに、マークが点灯/消灯します。それぞれのマークが点灯しているときがONとなり、アラーム・時報が鳴ります。

※アラームONにすると、「」マークと該当のグラフ表示が点灯します。

※時報ONにすると、「」マークが点灯します。

アラームマーク



時報マーク



デモアラーム

アラームモードのとき、㊟ ボタンを1~2秒間押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

鳴っているアラーム音を止めるには

㊠ ㊢ ㊣ ㊤ ㊦ ボタンのいずれか1つを押します。